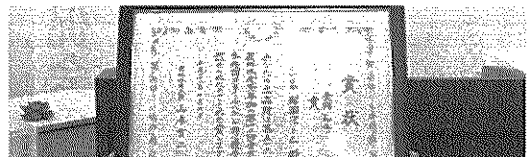


発行済株式総数3%相当の金額を根拠としてい



④枝肉せりに先だち購買を要請する杉本社長 ⑤受賞を喜ぶ岩国ファームの村田社長

視店、そう西神店に関する事業をH20が承継すること②H20クループのポイント制度（Sポイント）を関西圏のセフニーイレブ・ジャパン店舗が導入すること―について話し合いを進め

認定団体として認定

海外における日本産食材サポーター店

首都圏MP輸出推進協

首都圏ミートパッカー輸出推進協議会（代表理事 阿部昌史・特ミート・コンパニオン代表取締役）はこのほど、海外における「日本産食材サポーター店の認定」を担う認定団体に認定された。

農林水産省では日本食・食文化の海外発信を強化する観点から、4月に「日本料理の調理技能の認定に関するガイドライン」および「日本産食材サポーター店の認定に関するガイドライン」を制定。

同協議会は、日本産の優良な食肉を世界に向けて、正しい知識の普及と認知度向上への取り組みを進め、輸出拡大活動を行っていることから日本産食材サポーター店認定団体として名乗りをあげた。今後は同制度の認定団体としてPRに取り組み、日本産食材を積極的に使用している世界各地の飲食店や小売店を認定し、海外需要拡大を目指す。

今回、同協議会では認定



「プロジェクトを積極的に応援したい」と宮坂社長

プロジェクトにより審査が行われた。ことしは過去最多の約80社から約570品目が出品され、審査結果をいったんドイツに持ち帰ったあと、後日受賞の発表となる。

11日には、東京都町田市の浅利学長は「日本でのコンテストは3回目となるが、1891年から開催されている伝統ある国際的なコンテストの手伝いができることを大変うれしく思う。また、商品向上のために熱心に参加

菅田 光司
・こうじ 東
活衛生同業組合
同組合常任相
事長、80歳）
未明、逝去。
20日午後6時

定団体として、海外における日本産食材を積極的に使用している飲食店・小売店として「日本産食材サポーター店」を2店舗認定。新たに認定された店舗は、タイ・バンコクで日本産和牛をメインとした料理を提供している「Restaurant WAGYU SAM MURAI」と、日本産和牛や和牛を使用した加工品を販売している「Samurai Meat Shop」。

同協議会では今後も日本産食材サポーター店の募集を行い、各国のサポーター店と連携してオーラルジャパンで日本産食材の海外需要拡大に取り組み、輸出促進活動に努める。

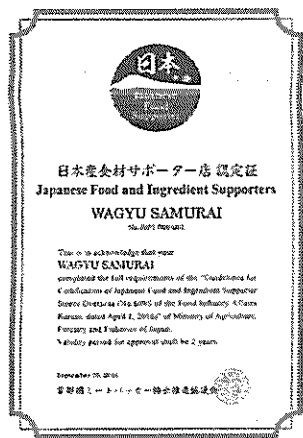
茨城県から牛初輸出

常陸牛振興協が出発式

茨城県常陸牛振興協会は10月11日、茨城県内でと番・加工された常陸牛初輸出の出発式を（特茨城県中央食肉公社で開催した。

現在、常陸牛はタイ・ベトナムに海外輸出が行われており、海外推奨店も9店舗（タイ6店舗、外輸出業者（小松水産、西本貿易）を介して海外に初輸出する運びとなり、とくにタイへは小松水産を介したオールいばらぎでの輸出が可能となった。

式典の冒頭、主催者を代表して茨城県常陸牛振興協会の川津修会長は「県内から常陸牛を輸出



サポーター店認定証

日本産食材サポーター店 認定証
Japanese Food and Ingredient Supporters
WAGYU SAMURAI
The organization that supports WAGYU SAMURAI completed the full requirements of the "Guidelines for Certification of Japanese Food and Ingredient Supporter Stores" created by the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan. Validity period for approval shall be 2 years.
December 20, 2016
登録商標・特許権・商標権・著作権等

【交雑牛の部】 優秀
1席 有希牧場（愛）
1930円、エスプ
▽優良賞1席 原
芳房（愛知、1905
肉の小林総本店）▽
2席 高野畜産（静
1767円、阪南畜



祝 茨城からタイ・ベトナムへ 常陸牛初輸出 出発式